

東南アジアの廃棄物処理会社を買収 ～インドネシア、タイ、シンガポールで事業を開始、 アジアNo.1の環境・リサイクル会社へ～

当社（東京都千代田区外神田四丁目14番1号 資本金：364億円 社長：河野 正樹）子会社のDOWAエコシステム㈱（同所 資本金：10億円 社長：古賀 義人）は本日、東南アジアの廃棄物処理会社であるModern Asia Environmental Holdings Inc.（以下 MAEH社）の発行済みの全株式を、HSBC Private Equity (Asia) Limitedを主体とする投資ファンドから譲り受ける契約を締結いたしました。譲渡日は、2009年2月5日を予定しています。

MAEH社は、東南アジア3カ国、4拠点で廃棄物処理事業を展開している会社です。インドネシアでは、1拠点で最終処理施設や廃油・廃液処理施設などを保有し、廃棄物処理事業、燃料再生事業、土壌・施設浄化事業などを行っております。インドネシアで唯一、有害廃棄物の最終処理の営業許可を所有している会社です。タイでは、焼却処理施設と最終処理施設の2拠点を保有し、廃棄物処理事業を行っています。タイ全土で廃棄物の焼却処理施設は2ヶ所しかなく、そのうちの1ヶ所です。シンガポールでは、1拠点で焼却処理や蒸留・再生事業を行っています。インドネシアとタイの最終処理施設の敷地面積の合計は約100万㎡で、DOWAグループが秋田県に保有しているグリーンフィル小坂（民間の管理型最終処理施設としては日本最大級）の約10倍の広さとなります。現在DOWAグループは、日本国内に300万㎡の最終処理容量を確保しておりますが、今回の買収により合計で1,000万㎡以上を確保することになります。DOWAエコシステムは、近年日本国内において最終処理施設を機軸として、廃棄物の中間処理事業→土壌浄化事業→リサイクル事業へと展開し、急速に成長してきました。今回MAEH社の買収を機に、日本と同様のビジネスモデルが東南アジアで展開可能となり、新たな成長が期待できます。MAEH社はDOWAグループにとって計り知れないポテンシャルを秘めた中核企業となると考えています。

MAEH社は、2000年に米国の大手廃棄物処理会社の海外部門（旧Waste Management International Inc.（WMI社））の元社員が設立した会社で、旧WMI社の施設やプロジェクトを継承してスタートしました。MAEH社の各事業拠点は、ISO9001・14001、US-EPA（米国環境保護局）などの国際基準に適合しており、日本の基準と遜色ありません。最終処理施設は、シートからの漏洩を防ぐため3重の安全構造となっています。また廃棄物の収集運搬には、GPS（衛星による位置確認）を利用した車両の運行管理やバーコードによる廃棄物の管理など、最新のテクノロジーを採用しています。

東南アジアでは、近年廃棄物や有害物質の不適正な処理で人々の健康に被害が出るなど、環境問題の解決が大きな課題となっており、適正に処理できる廃棄物・リサイクル施設が未だ十分でないのが現状です。今後、各国の政府や自治体だけでなく、東南アジアに進出している企業からも廃棄物・リサイクルなどの適正処理のニーズは高まり、中長期的に環境関連ビジネスの急成長が見込まれます。

DOWAグループは、これまで主に国内および中国で環境・リサイクル事業を展開してきましたが、今回の買収により、東南アジアの主要3カ国で新たに廃棄物処理事業、土壌浄化事業、リサイクル事業を開始いたします。この結果、東南アジアに進出している企業に対しても、日本と同様の信頼あるサービスを提供することが可能となり、日本・中国・東南アジアで廃棄物処理・土壌浄化・リサイクルのトータルサービス（One-Stop-Shop）が提供できる唯一の会社となります。また、今後は日本政府などが行っている東南アジアの環境支援活動への貢献を始め、CDM(Clean Development Mechanism)事業や環境コンサルティング、各国での環境関連人材の育成にも力を入れてまいります。

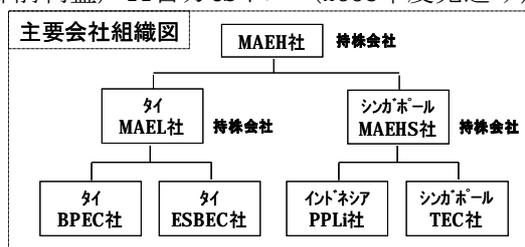
当社は、本年4月からスタートする次期中期経営計画(2009～2011年度)において、環境・リサイクル事業への経営資源の投入を加速させます。当社の環境・リサイクル部門は、2011年度には売上高を1,100億円、経常利益を110億円、海外の売上高比率を10%程度に高め、安定性(日本国内)と成長性(中国・東南アジア)を確保する計画を掲げております。今回のMAEH社の買収により、その目標達成に向け大きなプラットフォームを手に入れることができます。当社の環境・リサイクル部門は、アジアでNo.1の環境・リサイクル会社となり、アジアの環境改善に貢献します。

1. MAEH社の概要 (2008年12月末現在)

- 1) 会社名 **Modern Asia Environmental Holdings Inc.**
- 2) 代表者 **Director & President / COO : Edward A. Corcoran**
- 3) 設立 **2000年7月**
- 4) 資本金 **16.39百万USドル**
- 5) 株主 **WM Holdings Inc. 100%**
- 6) 売上高 (連結) **33百万USドル (2008年度見込み)**
EBITDA (利払い・税引き・償却前利益) 11百万USドル (2008年度見込み)
- 7) 従業員数 **約750名 (グループ計)**

2. 主な事業内容

MAEH社の下に、2つの持株会社と主要な4事業会社があります。



(事業会社)

- 1) インドネシア：PPLi社 (PT Prasadha Pamunah Limbah Industri)
 - ・廃棄物の最終処理、廃油・廃液処理などの拠点
 - ・インドネシア国内で唯一、有害廃棄物の最終処理の営業許可を所有している会社で、国際基準にも適合
- 2) タイ：BPEC社 (Bangpoo Environmental Complex Co Ltd.)
 - ・廃棄物の焼却処理などの拠点
 - ・タイに2ヶ所しかない廃棄物焼却処理施設の1つ、2007年から稼働
- 3) タイ：ESPEC社 (Eastern Seaboard Environmental Complex Co Ltd.)
 - ・廃棄物の最終処理、廃油・廃液処理などの拠点
 - ・タイ最終処理施設保有大手4社の1社、国際基準にも適合
- 4) シンガポール：TEC社 (Technochem Environmental Complex Pte Ltd.)
 - ・廃棄物の焼却処理、蒸留・再生などの拠点
 - ・シンガポール有害廃棄物処理企業6社のうち1社、設備は小規模だが、処理メニューは豊富

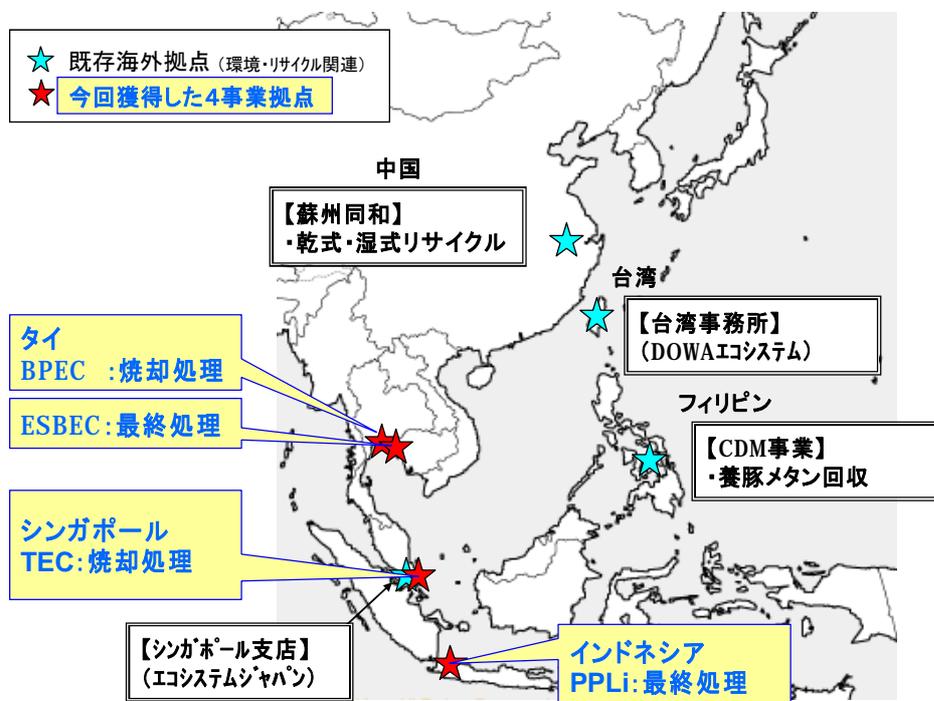
(持株会社)

- 5) タイ：MAEL社 (Modern Asia Environmental Ltd.)
 - ・タイの持株会社
- 6) シンガポール：MAEHS社 (Modern Asia Environmental Holdings Pte Ltd.)
 - ・シンガポール、インドネシアの事業会社を所有する持株会社

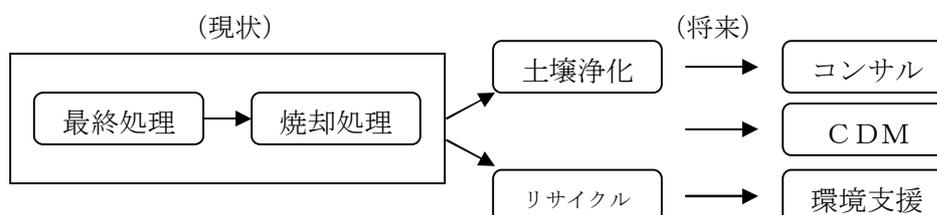
3. 今後の事業展開

- 1) 廃棄物処理事業の拡大
 - ・日系企業等をメインに廃棄物処理などの既存事業を拡大
- 2) 土壌浄化事業の拡大
 - ・2006～2008年、インドネシア、タイ、シンガポールにおいて土壌浄化案件の引合いあり
 - ・今後、最終処理施設を機軸に土壌浄化市場を創設・拡大
- 3) リサイクル事業の拡大
 - ・現状の収集運搬システムや集荷拠点、保有している許認可等を活用、プロダクションスクラップなどを中心とした貴金属リサイクル原料を回収し、リサイクルを促進、日本・中国・東南アジアにおけるリサイクルネットワークを構築
- 4) CDM・環境コンサルティング事業の拡大
 - ・フィリピンで開始したCDM事業を東南アジアに拡大、環境コンサルティング事業もDOWAグループのイー・アンド・イー ソリューションズ (E&ES) を活用し、強化
- 5) 日本政府の環境支援プロジェクトなどとの連携
 - ・東南アジア諸国の環境改善、人材交流・育成などにも貢献

環境・リサイクル事業の拠点



東南アジアにおける今後の事業展開



この件に関するお問い合わせ先

DOWAホールディングス株式会社 担当 黒木、森瀬

TEL. 03-6847-1106 FAX. 03-6847-1121

ホームページアドレス : <http://www.dowa.co.jp>

今回獲得した4事業拠点

・東南アジアで廃棄物処理事業を実施

・タイ、インドネシアを中心に展開(最終処理・焼却処理など)、シンガポールにも拠点あり

・ISO9001&14001、US-EPAなど国際基準も認証取得済み

※US-EPA: 米国環境保護局

Modern Asia Environmental Holdings Inc.(MAEH社)

タイ:ESBEC社

インドネシア:PPLi社



タイ:BPEC社

シンガポール:TEC社



位置図



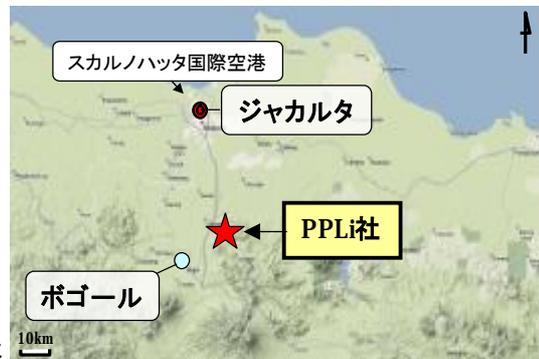
インドネシア:PPLi社
・ジャカルタ南方約50km
(車で1時間弱)

タイ:BPEC社
・バンコク南東約30km
(車で1時間弱)

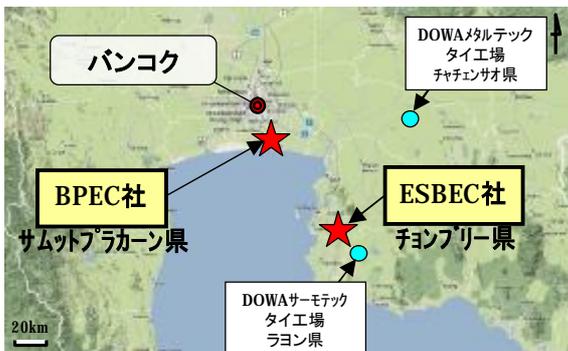
タイ:ESBEC社
・バンコク南東約100km
(車で2時間弱)

シンガポール:TEC社
・シンガポール西端、空港より約40km(車で40分)

インドネシア



タイ



シンガポール



以上